

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.853  
2019.10.27

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	



## 基金 736 億円 市民のくらしにいかせ

### 2018 年度決算を不認定

回りました。とりうみ市議は「水道事業は利潤をあげるものではない。水道料金の値下げについて真剣に検討するべき」と強く求め、そして市民のくらしと福祉優先の姿勢への転換を求めて、決算を不認定としました。

しかし、民主改革・自民・公明などが賛成し、2018 年度決算審査は認定されました。

#### 意見書まとまる！

### 企業主導型保育の改善を求めて

9月議会最終本会議で、党市議団が提案した意見書がもとになり「企業主導型保育事業における地方自治体との連携強化を求める意見書」が全会一致で採択されました。神田よしゆき市議が代表して提案しました。

認可外保育施設である企業主導型保育事業は、設置の際に、地方自治体の関与を必要としないうえに、認可保育施設並みの助成金が受けられます。そのため短期間で整備が進みましたが、保育の質の確保や地方自治体との連携強化などの課題が浮き彫りになっています。市として、国に対し、企業主導型保育事業の改善のための指導監査や巡回指導などのしくみの構築やそのための費用支援などを求めました。

## 投票率向上は民主主義の課題

### 請願の採択を求めて討論

りませんでした。

さらに「投票率向上のための施策の実施を求める請願」については、総合政策委員会で審議された際、民主改革と共産が採択、自民と公明が不採択を主張し、可否同数により委員長権限で不採択となった経緯があります。

とば市議は「低投票率は憂慮すべき事態。投票率向上は民主主義の重要な課題とし、商業施設や駅周辺の施設を使っての期日前投票、投票環境の改善、啓発活動を進めることを求める」として「ひとりでも多くの議員が、請願の願意をくみ取って採択を」と呼びかけました。しかし、自民・公明が不採択を主張し、採択とはなりません。

党市議団は今議会、市長が提出した議案40件のうち、決算議案以外の37件すべてに賛成しました。



10月18日、9月議会本会議で、党市議団を代表してとばめぐみ市議が議案と請願の討論に立ちました。

はじめに、来年4月から始まる会計年度任用職員制度について「正規職員の代替ではないことを確認し、この制度で諸手当や期末手当等、一定の処遇改善が見込まれる」として、正規職員の増員、市民サービスの向上、臨時・非常勤職員の正規職員化、待遇改善を求めたうえで、議案に賛成しました。

また、市民から出された請願「消費税増税に伴う学校給食費の値上げはしないでください」については「格差と貧困が広がるなかでの給食の重要性、子育て世代への教育費の負担を鑑み、506もの自治体が給食費軽減（または無償）策を講じていることが審議のなかで明らかになった」として採択を求めました。しかし他党派が不採択を主張し、採択とはな

## 決算委員会・総合政策②

# 職員を増やして 残業時間をへらせ



9月30日、神田よしゆき市議が決算特別委員会（総合政策委員会関連）で市職員の働き方について質疑をおこないました。

**神田** とくに残業時間の多い課、平均残業時間の多い課は。

**市** 2018年度の月平均時間外勤務時間数がいちばん多かったのは、人事課 58.98

時間、続いて医事課 53.57 時間、財政課 50.48 時間、スポーツイベント課 48.15 時間、商業振興課 47.36 時間。

**神田** 人事委員会が長時間労働の是正として、業務の効率化を図ること、業務量に見合った人員の配置を求める勧告をしている。この勧告にもとづいたとりくみは。

**市** 職員不足の課、時間外が多い課、今後業務が増加するとみられている課には人員配置をするよう進めている。

**神田** 働き方改革で、人事院は残業時間を月45時間、年間360時間を上限とする規則を定めている。本市の幸せ倍増プランでも、来年には年間残業時間が360時間以上の人をゼロにする目標を掲げている。来年までに実現できるのか。

**市** 目標の達成状況は、2018年度で約

18.1%。非常に厳しい状況と認識している。

**神田** 国をあげた定数抑制がずっと続けられてきたことが長時間労働を生み出す一番の要因。公務員を減らしすぎたことで、児童相談所の職員が少ないなど様々な問題が起こり、公務員を増やそうと風向きが変わってきている。人事委員会の勧告にきちんと応えていくべきだ。

神田市議は、2018年度の実績にたち職員を大幅に増やして残業時間を減らすよう求めましたが、市は大幅増員については答弁を避けました。

## 決算委員会 市民生活

# 消費生活相談センター 架空請求で相談増



10月3日、金子あきよ市議が決算特別委員会（市民生活委員会関連）で質疑をおこないました。

**金子** 消費生活相談センターの相談件数が昨年度、増加傾向に転じた要因は。

**市** 架空請求のハガキが無差別的に各家庭に配布されたことによるもの。

**金子** 各センターの相談員一人当たりの相談件数も大変多くなっている（表）。職員の増員が必要ではないか。

**市** 将来的には課題だと認識している。

### 相談員一人当たりの件数

消費生活相談センター	766 件
浦和消費生活センター	643 件
岩槻消費生活センター	373 件
3センター平均	671 件

### ふれあい収集を週2回に

**金子** 件数が年々増加している。昨年度、新たな申請はどれだけあったか。

**市** 全区合計で680件。受理した申請には全て対応している。

**金子** ふれあい収集は市民の家庭の玄関先まで入って、収集をおこないながら安否の確認もする、という大切な事業。対象の高齢者や障害者の異状を発見し対応に至った事

例があったか。

**市** 今年度に入り1件、お亡くなりになっていた事件があった。

**金子** そういう事態を踏まえても、要望の強い週2回の収集をおこなうべきではないか。

**市** 高齢化に対応できるよう、各家庭のニーズを踏まえ検討していく。

このほか、カーブミラーの設置事業、食品ロスを削減するためのフードドライブ事業についてもとりあげました。

## あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連